

〈学校教育目標〉 自分も他人も大切にする児童の育成

〈研究主題〉 「自分と集団の考えを発展させる学び合いの授業」

I 学校経営理念

「地域とともにある学校」「全ての子どもたちが安心して豊かに生活できる学校」の実現に向け、チーム学校として一人一人の教員が質の高い教育を追求しようとする学校経営を進める。

II 学校経営方針

- 「チーム山田」として取り組む。
 - ・授業や生徒指導での連携
 - ・専門性を磨き合う教員集団
- 児童理解を深める。
 - ・校内支援体制の強化
 - ・児童、保護者、地域のニーズへの適切な対応

III 中期目標(3年目の指標)

知	<p>確かな学力の育成</p> <p>○基礎的な知識・技能の習得と知識・技能を活用する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全国学力・学習状況調査:全国平均+3P ◇高知県学力定着状況調査:県平均+3P ◇標準学力調査(年度末)第1～3学年:全国平均以上 ◇探究型のふりかえり調査 <p>「図書館・新聞を活用した授業」他:3.5以上(4件法)</p> <p>○家庭学習の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇家庭学習アンケート <p>「毎日家庭学習をしている」:90%以上</p> <p>○学校評価者委員会評価 A以上</p>
徳	<p>しなやかな心の育成</p> <p>○規範意識の確立と自尊感情の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇道徳意識調査「道徳の時間が好き」:80%以上 ◇長期欠席児童出現率:0% ◇Q-U「学級不満足群」:全国平均 <p>○主体的に生きる児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇意識調査 <p>「将来の夢や希望を持っている」:80%以上</p> <p>○学校評価者委員会評価 A以上</p>
体	<p>健やかな体の育成</p> <p>○体力の向上「わかる・できる・楽しい体育」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇全国体力・運動能力、運動習慣等調査 <p>体力合計点:県平均以上</p> <p>児童意識調査</p> <p>「体を動かすことが好き」:95%以上</p> <p>「体育の授業が楽しい」:95%以上</p> <p>○健康的な生活習慣づくり</p>

IV 行動指針

<p>確かな学力の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 探究的な授業づくりの実践 <ul style="list-style-type: none"> ・目指す授業づくりの共有 (年間を通した講師招聘による指導・助言) ・「授業Basic」を基にした授業改善の研究 (「課題の提示の仕方」、「課題に即した振り返りの実施」、若年教員への支援等) 2 家庭学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の目的と効果の検証の全体共有 ・家庭と連携した家庭学習の実施 3 図書館教育の充実
<p>しなやかな心の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科 道徳」の指導研究 ・児童会活動の活性化 2 児童理解体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な学級づくり ・子ども同士がよさを認め合える場の設定 ・生活規律の絞り込み(やまだっこの約束) 3 教育相談支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・校内支援会の定期的な実施 ・課題や支援方法の共有
<p>健やかな体の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教科体育の指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・系統的な指導計画に基づいた体育の授業づくり ・学習カードを用いた授業の実施 ・体幹を鍛える取組の実施 2 「早寝・早起き・朝ごはん運動」の取組の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・生活がんばりカードによる取組 ・保護者への啓発

VI 経年における検証・評価

	知	徳	体
1年目			
2年目			
3年目			

◇生活がんばりカード肯定的な回答:90%以上
○学校評価者委員会評価 A以上

V 短期学校経営方針及び評価(平成29年度)〈1〉

知

1 4月当初の学校の状況 (課題は何か)
<p>1 基礎基本の力が十分に身に付いていない児童が多い。「授業Basic」を基にした授業づくりが十分に行われていない。</p> <p>◇H28年全国学力調査:全国との差 国語A(-2.9) 算数A(-3.6) 国語B(-10.0) 算数B(-5.2)</p> <p>◇平成28年度高知県学力定着状況調査 現5年:県平均と同等 現6年:県平均+2P</p> <p>◇平成28年度標準学力調査(年度末)の結果 国語 現2年75.5(-7.6) 現3年74.9(-10.9) 現4年76.6(-7.8) 算数 現2年83.1(-6.5) 現3年71.7(-3.4) 現4年67.1(-6.6)</p> <p>2 家庭学習の習慣が身に付いていない児童が見られる。</p>

2 具体的な到達目標 (目指す状態)
<p>1 児童が基礎基本を身に付け、知識や技能を活用したりしている。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査:全国平均+3P以上</p> <p>◇高知県学力定着状況調査:県平均+3P以上</p> <p>◇標準学力調査(年度末)第1~3学年: 全国平均以上</p> <p>◇探究型のふりかえり調査 「図書館・新聞を活用した授業」他:3.5以上</p> <p>2 毎日の家庭学習が定着している。</p> <p>◇家庭学習アンケート 「毎日家庭学習をしている」:100%</p>

4 中間検証時の状況及び考察 (変更点)
<p>1 標準学力調査(2~5年・4月実施)・全国との差 国語2年 79.4(-4.4) 3年 77.0(-3.3) 4年 70.7(-0.4) 5年 67.8(-8.4) 算数2年 80.9(-2.7) 3年 76.7(-4.2) 4年 76.0(-1.4) 5年 67.8(-8.4) ・結果を受けて、各学年で分析・考察・全体で共有し今後の授業に役立てる。</p> <p>2 毎日の家庭学習が定着している。</p> <p>◇家庭学習アンケート 「毎日家庭学習をしている」・・・97% 「家で勉強する時間は、学年で決まっている時間以上をしている」・・・77% ・家庭学習の必要性がわかっていないと思われる⇒家庭学習のしおりを作成する ・学習が理解できていないから取組めていない。⇒山田高校生に支援してもらい加力学習を進める。</p>

5 年度末検証 (到達状況及び次年度に向けて)

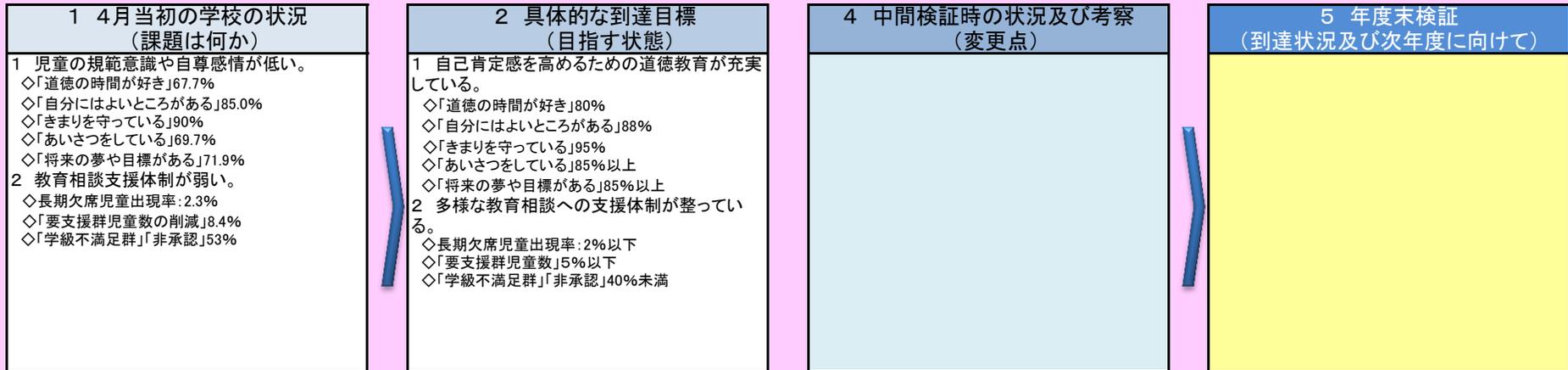
3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別)

項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
知 探究的な授業づくり 【研究主任・まなび部】	<p>①講師招聘の全校授業研を9回行う。</p> <p>②「授業Basic」を基に、探究のプロセスを重視した授業研究を行う。</p> <p>③若年教員の育成を目指した定期的な学年会の実施</p>	<p>①②探究型のふりかえり調査 (児童用2・3・4) 肯定的評価:3.5以上 (教師用4・6) 肯定的評価:3.5以上</p> <p>③若年教員の育成を目指した学年会(教材研究 等)を週1回実施する</p>	<p>取組の共有「授業Basic」の確認 意識調査(4月)→検証・改善策</p> <p>講師招聘による授業研究会・公開授業の実施(4・5・6月)</p>	<p>中間検証(課題と改善内容の確認) 意識調査(10月)→検証・改善策</p> <p>講師招聘による授業研究会・公開授業の実施(9・10・11・12月)</p>	<p>意識調査(1月)→検証・改善策 年度末検証(課題と改善内容の確認)</p> <p>講師招聘による授業研究会・公開授業の実施(1月)</p>	
	<p>①根拠となる情報を読み取る力・考えをまとめて発信する力をつける授業改善を行う。</p>	<p>①はじめ・中・おわりを考えて文章を書く ①新聞・国語学習シート・国語科台克服指導資料集を活用する。年間計画に位置付ける ①シンキングツールを年間計画に位置付け活用する</p>	<p>国語学習シート・国語科課題克服指導資料集を活用・シンキングツール活用についての共有・確認</p> <p>講師招聘による授業研究会・公開授業の実施(4・5・6月)</p>	<p>中間検証(課題と改善内容の確認)</p> <p>講師招聘による授業研究会・公開授業の実施(9・10・11・12月)</p>	<p>年度末検証(成果と課題の共有と確認) 教科経営案への位置付け</p> <p>講師招聘による授業研究会・公開授業の実施(1月)</p>	
家庭学習の定着に向けた取組 【まなび部】	<p>①学年に応じた家庭学習の内容を計画する。(各学年で長期休業中の家庭学習計画・立案)</p> <p>②効果を捉えるために家庭学習アンケートを3回行う。</p> <p>③家庭学習の必要性について、家庭への啓発を行う。</p>	<p>①②③家庭学習アンケート 「毎日家庭学習をしている」:80%以上</p> <p>①②③家庭学習の時間について各学年目標達成:90%以上</p>	家庭学習の手引きの確認と手引きに基づいた家庭学習の実施			
		<p>意識調査(4月)→検証・改善策</p> <p>PTA総会において、家庭学習の手引きの説明(4月)</p>	<p>意識調査(10月)→検証・改善策</p> <p>学級懇談、便り、PTA役員会等による啓発</p>	<p>意識調査(1月) 年度末検証一次年度の計画作成</p> <p>学級懇談、便り、PTA役員会等による啓発</p>		
	①学校図書館活用における年間指導計画を見直す	①②探究型のふりかえり調査 (児童用2) 肯定的評価:3.5以上	年間指導計画の見直し(4月) 意識調査(4月)→中間検証・改善策	意識調査(9月)→検証・改善策	意識調査(1月)、年度末検証一次年度の計画作成	

効果的な学校図書館の活用【まなび部・図書担当】	①9. ②学校図書館を活用した授業を計画的に実施する。	(元里州)月定評価:3.5以上 (教師用9)肯定的評価:3.5以上 ①②年間を通した学校図書館を活用した授業の実施:各学年各教科・領域において学期に3回以上	図書館の活用の仕方確認(4月)、親子読書、ショートコメントコンテストへの取組(5・6月)、新聞感想文コンクール	読書感想文取組(9月)、親子読書、読書の山のほりの実施(10月)、ペア読書(11月)、読書感想画	読書まつり(1月)、親子読書
			講師招聘による図書館を活用した授業研究会・公開授業の実施(6月)	講師招聘による授業研究会・公開授業の実施(11月)	講師招聘による図書館を活用した授業研究会・公開授業の実施(1月)

V 短期学校経営基本方針及び評価(平成29年度)〈2〉

徳



徳

3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別)

スケジュール

項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
道徳教育の充実【こころ部】	①具体的な生活場面に繋がる道徳指導を研究する。 ②道徳年間指導計画の系統性的見直しを行う。	①②「道徳の時間が好き」85%以上 ①②「きまりを守っている」90%以上 ①②「あいさつをしている」90%以上	公開授業(7月) 年間指導計画の見直し(4月) 意識調査(4月)→中間検証・改善策	道徳参観日(9月) 意識調査(10月)→検証・改善策	意識調査(1月) 年度末検証→次年度の計画作成	
生徒指導体制の充実【こころ部】	①縦割り班活動の活性化を図る。 ②児童会活動を通して、人との関わりの中で仲間や周りの人を大切にする心を育てる。(いじめ防止の取り組み) ③「やまだっ子のお約束」の取組	①②③「自分にはよいところがある」:85%以上 ①②③「将来の夢や希望を持っている」:90%以上 ①②③「きまりを守っている」:90%以上	あいさつ運動(毎月) 意識調査(4月)→中間検証・改善策	あいさつ運動(毎月) 意識調査(10月)→検証・改善 花いっぱい運動(10月)	あいさつ運動(毎月)、ありがとう集会(3月)、意識調査(1月) 年度末検証→次年度計画作成	
教育相談支援体制の強化【こころ部】	①校内支援会を定期的実施する。 ②課題や支援方法の共有を図る。	①②「要支援群児童数」:5%以下 ①②「学級不満足群」:全国平均以下	QU調査・分析(5月)→中間検証・改善策	QU調査・分析(10月)→検証・改善策	年度末検証→次年度の計画作成	
校内支援委員会(1/月回以上)における情報の共有・支援策の検討・全体での確認						

V 短期学校経営基本方針及び評価(平成29年度)〈3〉

体

1 4月当初の学校の状況 (課題は何か)

1 体力や運動能力について、課題が見られる児童が多い。
◇全国体力・運動能力、運動習慣等調査
ED評価: 男子48.8%、女子33.3%

2 基本的な生活習慣が十分身につけていない。
◇生活がんびりカードがんびり賞以上:
1学期56%、2学期44%、3学期43%

2 具体的な到達目標 (目指す状態)

1 児童の体力や運動能力が改善している。
◇全国体力・運動能力、運動習慣等調査
ED評価: 30%未満
◇児童の意識調査
「体を動かすことが好き」: 90%以上
「外遊びが好き」: 90%以上
「毎日1時間以上運動をする」: 70%以上
「体育の授業が楽しい」: 90%以上

2 基本的な生活習慣が身に付いている。
◇生活がんびりカードがんびり賞以上: 55%以上

4 中間検証時の状況及び考察 (変更点)

1◇全国体力・運動能力、運動習慣等調査
ED評価: 男子37.0%、女子35.7%
◇児童の意識調査
「体を動かすことが好き」: 88.3% (-1.7%)
「外遊びが好き」: 89.9% (-0.1%)
「毎日1時間以上運動する」: 62.9% (-7.1%)
「体育の授業が楽しい」: 90.9% (+0.9%)
・運動する時間の確保が難しい。
⇒各学級で外で運動する時間を作る。
体育の後の休み時間に引き続いて運動する。
2◇生活がんびりカード1学期: 52% (-3%)
・「排便」に課題がある。
⇒朝の会で声がけ。学年・学級通信で取り上げる。
参観日に保護者に啓発。

5 年度末検証 (到達状況及び次年度に向けて)

3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別) **スケジュール**

項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
教科体育の充実 【からだ部】	①系統的な年間指導計画を作成し、実施する。 ②「体幹」「主運動」を鍛えるサーキットを実施する。 ③授業開始5分の運動に取り組む。 ④学習カードの活用	①②③④意識調査「体を動かすことが好き」: 90%以上 上、「外遊びが好き」: 90%以上、「毎日1時間以上運動をする」: 70%以上、「体育の授業が楽しい」: 90%以上 ①②③④全国体力・運動能力、運動習慣等調査: 各学年立ち幅跳びの記録を昨年度以上 ④学習カード年間3回以上活用	体カテスト実施(5月)、意識調査(4月)→中間検証・改善策	意識調査(10月)→調査結果を基にした検証・改善	意識調査(1月) 年度末検証→次年度の計画作成	
			「体幹」「主運動」を鍛えるサーキットの実施、授業開始5分の運動の実施			
健康教育 【からだ部】	①「早寝・早起き・朝ごはん運動」に取り組む。 ②ゲストティーチャーによる保健指導を行う。	①②生活がんびりカード肯定的な回答: 55%以上	生活がんびりカードの取組(5月)→中間検証・改善策	生活がんびりカードの取組(10月)→検証・改善7	生活がんびりカードの取組(1月)→年度末検証→次年度の計画作成	
			ゲストティーチャーによる保健指導	姿勢の学習(10月)、歯磨き指導(11月)、ゲストティーチャーによる保健指導		

1 4月当初の学校の状況 (課題は何か)

1 地域との協力体制は整ってきているので、さらに効果的な取組を考える必要がある。
2 特別な支援を必要とする新入学児童が多い。
3 地域と連携した防災の取組が、十分でない。

2 具体的な到達目標 (目指す状態)

1 地域との協力体制がさらに強まり、効果的な取組が進んでいる。
2 小学校入学後、不安なく生活できている。
◇「要支援群児童数」: 5%以下
◇「学級不満足群」: 全国平均以下
3 地域とともに、防災について考え、取組を進めることができている。

4 中間検証時の状況及び考察 (変更点)

5 年度末検証 (到達状況及び次年度に向けて)

3 「2」の目標を達成するための具体的な取組(項目別) **スケジュール**

項目	主な取組内容	取組内容の評価指標	1学期	2学期	3学期	評価
地域との連携・協働	①学校支援地域本部の活動を活性化させる。	①②ボランティアのべ参加者数: 300名以上		ボランティア募集(5月)		

連携・協働

期 等	協働 【管理職】	②コミュニティスクール設置推進委員会を巡回 実施する。	上	年間を通した読み聞かせ、放課後学習教室、交通安全指導等への協力		
				コミュニティスクールに設置推進 委員会(5・7月)、校内研修会(8 月)	コミュニティスクールに設置推進 委員会(10・12月)	コミュニティスクールに設置推進 委員会(1月)→年度末検証→次年 度計画作成
保幼小連携 【特別支援コー ディネーター・ 管理職】	①スタートカリキュラムの共通理解を図り、作成 を計画する。 ②課題や支援方法の共有を図る。	①スタートカリキュラムの必要性を共有し、 準備計画ができる。 ①②「要支援群児童数」:5%以下 ①②「学級不満足群」:全国平均以下	交流活動 連絡会(5月)	交流活動、保育参観(8月)	交流活動 連絡会(2月)	
			スタートカリキュラムの共通理解、研 修会参加	スタートカリキュラムの情報収集	スタートカリキュラム準備・計画案作 成	
防災・安全教 育 【管理職・防災 担当】	①高知県安全教育プログラムに沿った事業計画 を立てる。 ②計画的に避難訓練を実施する。	①②プログラムに基づく防災学習の指導 時間5時間 ①②様々な状況を想定した避難訓練を3 回以上実施	防災・安全教育の方向性の確認 防災学習(6月)→中間検証・改善策	防災学習(11月)→検証・改善策	防災学習(3月)→年度末検証→次 年度の計画作成	
			避難訓練(6月)→中間検証・改善策	避難訓練(11月)→検証・改善策	避難訓練(3月)→年度末検証→次 年度の計画作成	

A3判用紙両面1枚に収めてください。